

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

歯科用コーンビーム CT を用いた高齢者における根尖性歯周炎の発生要因調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2016年4月1日から2019年9月30日の期間に当院歯内治療科で歯科用コーンビーム CT 撮影を受けられた方

2. 研究目的・方法

急激に進行する高齢化社会において、高齢者に対する歯の保存的治療のニーズは日々高まっています。高齢者の残存歯中における根管既治療歯の割合や根尖性歯周炎の有病率は年齢とともに増加傾向を示し、それに伴い高齢者の歯内治療では再根管治療の割合が高いと考えられます。再根管治療では、根管異物や医原性の根管形態変化など、治療の複雑化や予後成績低下に関連する要因をしばしば伴っており、特に前回の治療の経過不良例、すなわち根尖部エックス線透過像を有する症例で予後成績が低下することから、高齢者における歯内領域の疾患、とりわけ根尖性歯周炎についての疫学的データを十分に理解した上で診療に望むことが求められています。しかし、根尖性歯周炎の発生に影響を与え得る因子についてのデータは活発に調査が行われておりますが、高齢者とりわけ75歳以上の患者に関するデータは現状において不足しております。本研究は、75歳以上の高齢患者について根尖性歯周炎の発生に影響を与え得る要因について調査を行い、高齢化社会において効果的に歯内療法を実践するための基礎的データの収集を目的としています。

本研究では、根尖病変の検出に歯科用コーンビーム CT（以下 CBCT）を使用します。CBCT は従来用いられてきた口内法エックス線撮影法やパノラマ断層撮影法と比して高い異常所見検出能を持つことから、従来の手法で行われてきた各種調査より正確なデータを得ることができると期待されます。

研究期間

「昭和大学歯科病院臨床試験審査委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2016年4月1日から2019年9月30日までに当院歯内治療科を受診しCBCTによる画像診査を行った外来患者のデータを使用します。CBCT画像データの他、患者さんの年齢と性別を調査項目とします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

所属：昭和大学歯学部歯科保存学講座歯内治療学部門

氏名：浦羽 真太郎

住所：145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

電話番号：03-3787-1151（内線247）